



第39回 全国都市緑化北海道フェア

ガーデンフェスタ
北海道2022

2022 年 日本造園学会全国大会シンポジウム 兼

第 39 回 全国都市緑化北海道フェア 都市緑化普及啓発シンポジウム

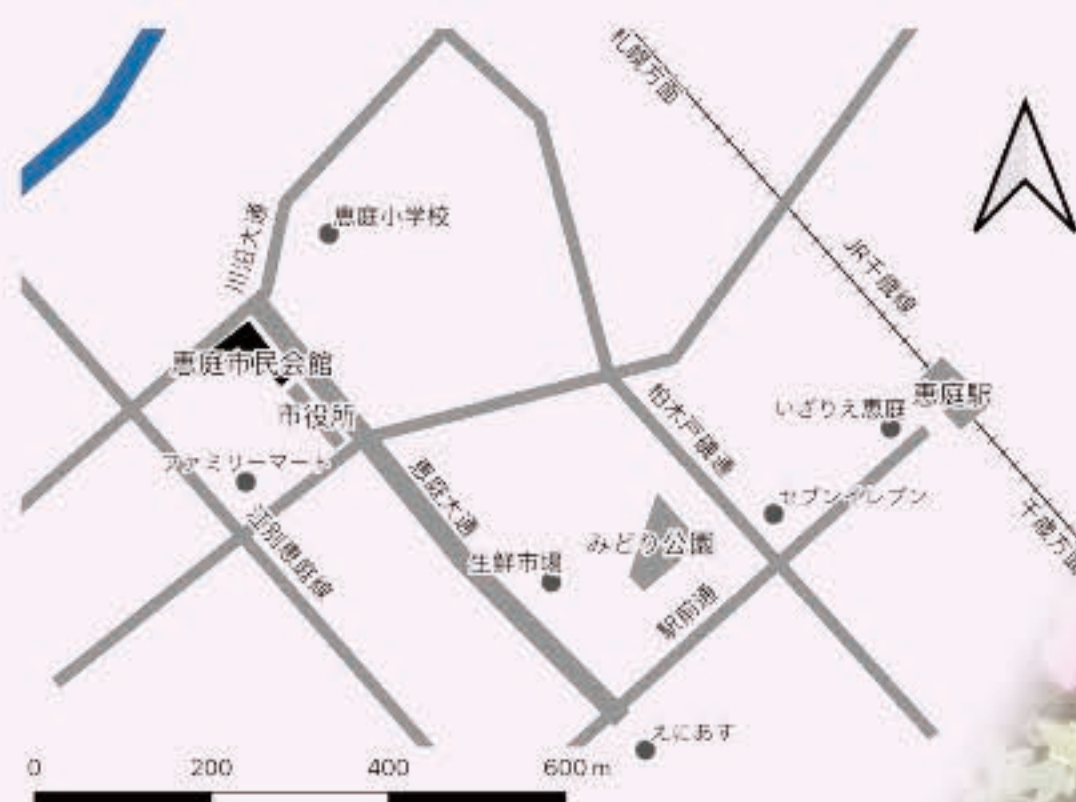
広がる、つながる、 花のまちづくり

2022. 6. 18. Sat.

14:00 - 17:30

恵庭市民会館大ホール

(恵庭市新町 10)



花と緑の栽培や鑑賞は様々な恵みを私たちと地域社会にもたらします。北海道の恵庭市では、花と緑にあふれた美しいまちをつくる取り組みが、市民・行政・団体・企業の協働により取り組まれています。日本全国の様々な地域で活動や研究に取り組まれている方々のお話をうかがい、今後の花のまちづくりを支える仕組み、支える人、他の地域への展開について考えます。

プログラム

14:00 - 恵庭市花のまちづくり動画上映

14:30 - 開催地挨拶 恵庭市長 原田裕

15:00 - 講演1 みんなで創る おもてなしガーデン

ガーデンデザイナー 竹谷仁志

15:30 - 講演2 ガーデニングが持つ、社会的・心理的な効果

マサチューセッツ大学 ランドスケープ・地域計画学部 学部長 ロバート・ライアン

16:00 - パネルディスカッション

パネリスト

ガーデンアイランド北海道 理事長

内倉真裕美

クラブツーリズム株式会社 花旅コーディネーター

船山純

ガーデンデザイナー

竹谷仁志

信州緑花ネットワーク 事務局長

宮入賢一郎

仙台市建設局 次長

佐々木亮

兵庫県立大学 / 淡路景観園芸学校 講師

新保奈穂美

コーディネーター

北海道大学大学院農学研究院 准教授

愛甲哲也

参加申込み

シンポジウムの参加を希望される方は事前の申し込みが必要です。

右の QR コードからお名前と連絡先をご登録ください。郵送でお申し込みの場合は、参加を希望される方の「お名前」「ご住所」「電話番号」をハガキに記載の上、下記お問合せ先にお送り下さい。

参加申込み受付 5月16日(月)～6月6日(月) 必着

※新型コロナウイルスの感染状況により、抽選で人数制限をさせていただく場合がございます。

※日本造園学会全国大会へご参加の方は、学会 HP からお申し込みください。

(<https://www.jila-zouen.org/>)



<https://forms.gle/eoAKTTK5JZ3sabMc6>

お問合せ

〒060-8589

札幌市北九条西9丁目 北海道大学農学部花き緑地内 造園学会公開シンポ担当 宛

email: 2022zoen@gmail.com

主催：公益社団法人日本造園学会、第 39 回全国都市緑化北海道フェア実行委員会

後援：国土交通省北海道開発局、特定非営利活動法人ガーデンアイランド北海道、北海道ガーデン街道協会

登壇者紹介

恵庭市長

原田 裕

1952 年生まれ、北海道三笠市出身。北海道大学法学部卒業。

恵庭市職員、神田館社員、(有)ハラダ代表取締役を経て、1995 年より北海道議会議員を4期連続で務める。2009 年より恵庭市長に就任、現在4期目。



ガーデンデザイナー

竹谷 仁志

2004 年「浜名湖花博ワールドガーデンコンペティション」グランプリ。そのほか受賞多数。

2012 年「北海道ガーデンショー」招待作家、TOKYO2020 オリンピックプロムナードマスコットガーデンなどのイベントガーデンや、六本木ヒルズ、サンシャインシティなどの商業空間のデザイン・プロデュースを行う。



マサチューセッツ大学
ランドスケープ・地域計画学部
学部長

ロバート・ライアン

ミシガン大学大学院自然資源・環境学科修了後、同大学院農学研究院助手を経て、2008 年より現職。

専門は環境心理学。都市公園や、農村・森林地域といった自然景観に対する認識や、地域の自然環境保全と市民協働による景観管理について研究。

著書に「With People in Mind」(訳本：自然をデザインするー環境心理学からのアプローチ, 誠信書房) など。



ガーデンアイランド北海道
理事長

内倉 真裕美

宮島学園デザイナー科卒業。

全国的に有名になった「花の街」北海道恵庭市恵み野の仕掛け人の一人。2014 年から、恵み野商店街のガーデンプロデューサーとなり 2015 年「第26回緑の景観デザイン賞」最高賞の国土交通大臣賞受賞。

現在は北海道を「庭園の島」にしようと「ガーデンアイランド北海道」の活動をしている。



クラブツーリズム株式会社
花旅コーディネーター

船山 純

KNT 渋谷営業所を出産のため退社。

花好きが高じて造園会社に 2 年間勤務のち、1998 年に KNT クラブツーリズムに復帰。花やガーデンをテーマにした旅を専門に企画・提案し、25 年目の現在に至る。



信州緑花ネットワーク
事務局長

宮入 賢一郎

株式会社KRC代表取締役社長。「第 36 回全国都市緑化信州フェア 信州花フェスタ 2019」で、ランドスケープコンサルタンツ協会の 2020 年設計部門優秀賞(企業体)を受賞。

著書に「トコトンやさしいユニバーサルデザインの本」、造園施工管理技士等の資格取得支援書籍など。



兵庫県立大学 /
淡路景観園芸学校 講師

新保 奈穂美

東京大学農学部環境資源科学課程緑地生物学専修卒業、東京大学大学院新領域創成科学研究科自然環境学専攻修士・博士課程修了。筑波大学生命環境系助教を経て、2021 年 4 月より現職。

緑地計画学を専門とし、主に都市型農園の役割や管理運営方法について、欧米・日本等を対象に研究。



仙台市建設局
次長

佐々木 亮

千葉大学園芸学部環境緑地学科卒。

1986 年 4 月仙台市役所入庁(造園職)。建設局百年の杜推進部公園課長、百年の杜推進課長、太白区建設部長、建設局百年の杜推進部長を経て、現在、建設局次長(全国都市緑化フェア推進担当)。令和 5 年 4 月～ 6 月に開催される全国都市緑化仙台フェアの成功に向け取り組んでいる。



北海道大学大学院
農学研究院 准教授

愛甲 哲也

北海道大学大学院環境科学研究科修了後、同大学院農学研究院助手を経て、2008 年より現職。

専門は造園学、特に公園の計画・管理。地域や市民との協働による公園の管理、子どもの外遊び環境などについて研究。

著書に「自然保護と利用のアンケート調査」(築地書館)、「はじめて学ぶ生物文化多様性」(講談社) など。



第39回 全国都市緑化北海道フェア

ガーデンフェスタ北海道2022